

# あきまつ 秋祭り

ふきのとう開所以来初めて「秋祭り」を開催しました。

研修班は段ボールで豪華な神輿や模擬店用のチケット作りを作ってくれました。場所は普段から活動しているふきのとうの中に模擬店として「フランクフルト」「唐揚げ」「干本引き」「ジュース」「カレー」「お楽しみ」を設置。みんなはあらかじめ購入したチケットで思い思いの順番で商品と交換して

もらいました。メンバーは自由に行動してもらいましたが、特に混乱もなくスムーズに動けていたと思います。また、サントアースIIのメンバーも招待していただきましたので、一緒に楽しんでもらいました。クライマックスはサントアースIIのスタッフが準備してくれていた河内音頭で、みんな大盛り上がりで楽しんでいました

多くのメンバーがまたやってほしいと言っている、また出来たらいいなと思っています。



## しょうひん あんない マカロン商品のご案内

### ふゆ ていばん きせつげんてい 冬の定番 季節限定のスイーツ

#### ガトーショコラ

チョコレートたっぷり濃厚な味わい♡ガトーショコラの季節!

表面はサクッと中はしっとり♡チョコレート好きにはたまらない冬の王道のお菓子です。



#### さつま芋ケーキ

ふきのとうの畑で育てたさつま芋をふんだんに使い、しっとり焼き上げたお菓子です。今の季節だけ味わえる絶品!



一九八四年八月二〇日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行



## 新年明けましておめでとうございます

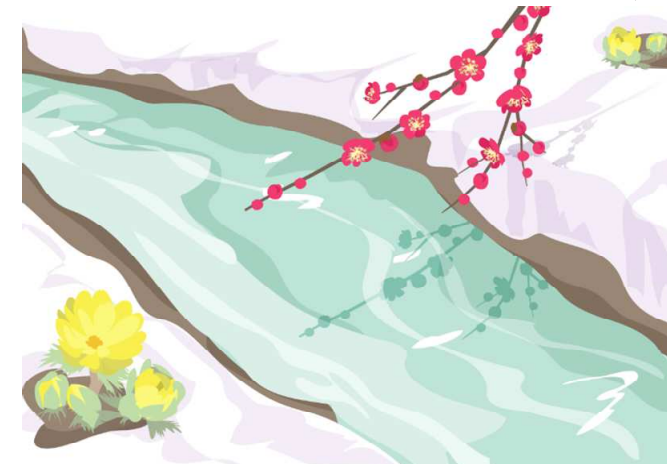
社会福祉法人ふきのとう 理事 古泉 健二

以前、この紙面をお借りして童謡『七つの子』と『赤トンボ』についてお話ししましたが、今回は新春にふさわしく、唱歌『早春賦』を紹介いたします。

子供の歌には大ざっぱに分けて、唱歌と童謡があります。最初の唱歌は明治14年文部省唱歌作成委員会が発表した小学唱歌初編で、その冒頭に『ちょうちょ』が登場します。その後も多くの唱歌が作成されましたが、中には国家権力にとって都合の良い価値観、道徳観を押し付けるものや、戦意高揚を目的とするものもありました。例えば、現在でも愛唱されている『我は海の子』には「いざ軍艦に乗り込みて我は守らん海の国」という一節がありました。もちろん戦後ただちに削除されています。

大正時代になると、本来子供が持っている豊かな情緒を育み、子供に夢を与えるような歌が必要だとする鈴木三重吉が『赤い鳥運動』を提唱しました。野口雨情、北原白秋、西條八十、やまだこうさくなどが参加し、数多くの童謡が生まれました。唱歌が幼児から青少年まで幅広く対象としているのに対し、童謡は13歳前後の多感な少女向きの楽曲が多いようです。

童謡の多くが今なお愛唱歌として歌われる一方、戦後消えていった唱歌は数知れませんが、現在もお歌い継がれている唱歌の一つが「春は名のみの風の寒さや」から始まる『早春賦』です。この歌は東京音楽学校(現在の東京芸大の



ぜんしん きょうじゆ よしまるかずまさ がくせい さつきよく(前身)の教授である吉丸一昌が学生の作曲用テキストとして書いた詩に在学中の中田章が曲を付け、『新作唱歌』として大正2年に発表されました。

かつては自分も貧しい苦学生であった吉丸は、本職のかたわら日本で初めて夜間中学を創設し、自学の志を抱いた苦学生を援助しました。『早春賦』は彼が夏季講習の講師としてしばしば訪れた信州安曇野の雪解け風景に取材したものです。今はまだ寒くても、やがて必ずやってくる春を苦学生たちの未来に重ね、希望に向かって旅立つ若者達への応援歌として作った歌なのです。

昨年は多発する自然災害に加え、新型コロナという未曾有の災難に世界中が震撼しました。終息の見通しが全く立たないまま2021年を迎えましたが、人類の英知を集結して必ずや克服できるはず。『早春賦』に込められた願いのごとく、必ずやってくる春を信じて強く生きて行こうではありませんか。

編集人 社会福祉法人ふきのとう ふきのとう便り編集委員会  
連絡先 〒632-0052 奈良県天理市柳本町 2036 番地 1 TEL 0743-67-1099 FAX 0742-84-7738  
HP <http://www.fukinotou.or.jp/>  
E-Mail fukinotou1099@fukinotou.or.jp  
発行人 関西障害者定期刊行物協会  
〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F

定価：10 円

# ふきのとうの動き

令和2年

- 10月1日 ふきのとう創立記念日
- 10月15日 ピクニック
- 10月27日 さつま芋収穫
- 11月5日・12月3日 きょうされん利用者部会
- 11月19日 秋まつり(イベント)

- 11月25日 天理ダム清掃
- 12月24日 クリスマス会
- 12月28日~令和3年1月4日 冬季休業

令和3年

- 1月5日 仕事始め

## ピクニック

ふきのとうではピクニックに行こう! ということで4班に分かれ様々な場所へ出かけました。

### 黒滝村班

黒滝村周辺を散策しました。約1時間の道のりをメンバーさんたちが談笑しながら進み、目的地「道の駅吉野路黒滝」に到着しました。きれいな川や緑豊かな自然が見られ、空気も澄んでおり、とても気持ちよかったです。昼食はお弁当を道の駅のベンチで食べました。とてもおいしかったです。買い物ではお土産など、思い思いの品を買っていました。更に帰りには「道の駅飛鳥」に立ち寄り、また買い物やドリンクを飲んだりしました。



### 飛鳥歴史公園班

明日香村方面に行ってきました。キトラ古墳壁画体験館『四神の館』では初めて見る神獣青・朱雀・白虎・玄武や世界最古の天文図を見て回り、四神の前ではカッコいいポーズで写真を撮ったりして楽しみました。その後、体験館にて、【バードコール作り】に参加、バードコールには好きな絵を描いて、見せ合いました。食事は外の広場で食べ、美味しい〜っ!と満面の笑顔! 帰りには飛鳥の道の駅であすかルビーのソフトクリームを食べ大満足のピクニックでした。



### 曾爾高原班

ススキの名所、曾爾高原に行ってきました。到着後、まずは昼食タイム。青空と緑の草原、そして緩やかな風の中で食べた焼肉弁当はおいしかったです。しばらく休憩してから散策開始。山頂では草原やススキ、さっきまで居た場所などを眼下に眺めながら記念撮影、いい思い出になりました。散策ルートは、斜面が急でハードな道のりでしたが、元気に歩き切ることができました。さすがに標高約1000m、澄んだ空気で、心も体も澄み切った1日でした。



### 二上山ふるさと公園班

公園を散歩するのに気持ちの良い日でした。池には色とりどりの鯉がいたのでエサやり。エサを食べる鯉に興味を示す人もいれば、エサを投げるのが楽しいという人も…。公園の芝生昼食、外で頂くお弁当は格別で、みんな喜んでいました。「ラッテたかまつ」では、好きなアイスを選んで食べました。帰りは道の駅でお土産を買ったり、自動販売機で買ったコーヒーを飲んだりしていました。今日は様々な楽しみ方でゆっくり過ごせた一日でした。



# いもしゅうかく さつま芋収穫



みんなでサツマイモ掘りをしました。スタッフが予めツルを切ってくれていたのですが、土の中に埋まっているので分かりにくく、茎の周りを掘り起こして芋を見つけると、「大きい芋があった」

とか「これは小さい」とか歓声を上げながら楽しく芋掘りをしました。手を怪我しないように手袋をして、スタッフが手伝ったり見守ったりしながら掘り、大地の恵みに笑顔が溢れていました。



## きょうされん利用者部会

11月5日・12月3日10時30分からきょうされん利用者部会「LIVEぴーちくわたしの主張」2020がZoomで開催されました。

ふきのとうは準備が間に合わなかったため発表は見送りましたが、全国の仲間発表やパフォーマンス、事務局の方からのクイズ等のほかにきょうされんの藤井専務理事がサンタ姿で登場などの演出がありました。

次回はふきのとうのメンバーも発表できるようにしっかりと準備をしたいと思います。

「LIVEぴーちくわたしの主張」2020のZoomで、小物や、ピナツツバターを作っている作業所さんの話を聞かせて頂きました。小物と、人形さんを作っている作業所さんは、とても上手に作られていました。ピナツツバターを作っている作業所さんは、時間を取られてゆっくり真剣に作られていました。奈良のスタート(非あと)の中尾さんは、コロナウイルスの事を真剣に発表されてきました。私も中尾さんと同じ奈良県にもコロナ対策のワクワン薬を分けてほしいと鬼のいた。各作業所の皆さんの主張の発表も聞けました。いい勉強になりました。コロナウイルスに負けないように皆さん頑張ってください。E.M